



一人でも入れる組合

# ユニオン神奈川

No. 143

2024年5月24日

発行：日本労働組合総連合会神奈川県連合会

連合ユニオン神奈川事務局

〒231-0023

横浜市中区山下町24-1 ワークピア 4F

TEL:045-211-1133 FAX:045-201-8866

(相談ダイヤル) 0120-154-052



第20回定期大会で挨拶する佐藤さん

佐藤さんとは、50年ほど前からの顔見知りでした。その頃、私は労働組合の駆け出し、佐藤さんはすでに当時の全電通労組（現在のNTTの前身で電信電話公社）の幹部で話ができる関係ではありませんでした。当時は総評の時代で、総評の地域組織である神奈川県評でのことです。

## 佐藤孝行さんを偲ぶ

連合ユニオン神奈川顧問 紙屋源太郎

それから40数年後の連合ユニオン神奈川で一緒に仕事をやることになったとは思っていませんでした。佐藤さんも同様だったと思います。神奈川の組合活動からNTT本部の共済組合に転身、定年退職後の出会いでした。佐藤さんは、連合ユニオン神奈川にすぐなじみ、個人組合員やユニオン傘下組合の相談や交渉に積極的に関わりました。佐藤さんはユニオンの書記長、副委員長としてユニオンの重責を担い、文字通りユニオンのまとめ役として、ユニオンにはなくてはならない人となっていました。佐藤さんは、ユニオンの活動に厳しく、ユニオ



まちかど労働相談でアナウンスする佐藤さん

(2023. 11)

ンの組織を誰よりも大切にしていました。その反面、日常では誰にも優しく、電話相談も安心感がありました。春は露、初夏はタケノコ、冬はミカンなど自ら収穫したものを皆さんにおすそわけをしていました。その佐藤さんの突然の死に言葉もありません。仲間と一緒に酒を酌み交わし（佐藤さんは赤ワインが好きでした）、カラオケでは昭和歌謡を楽しく歌い、仲間とのゴルフと誰からも愛され、頼りにされてきました。今は、ただ安らかに眠られることを心から祈りたいと思います。合掌

## 佐藤孝行さんを偲ぶ会

左記のとおり執り行い、ご冥福をお祈りいたします。

日時

令和6年6月22日（土）

会場

ワークピア横浜

3階「いちよう」

横浜市中区山下町24-1

会費 7千円

連絡先 フリーダイヤル

0120(154)052



# 二〇二四年度第1回学習会

第1回学習会は4月19日（金）、連合神奈川会議室で開催した。今回は神奈川県労働委員会審査調整グループリーダー

後藤洋介氏を招き、「不当労働行為に対する救済命令までの流れ」について講義をいただいた。参加者は26人。

直近3年間の神奈川県で救済命令が発出されうまでの流れについて説明があった。労働組合法第7条「不当労働行為」第1号は組合員であること理由とする不利益取り扱い、第2号は団体交渉拒否（不誠実な団体交渉）、第3号組合に対する支配介入、第4号労働委員会に申し立てたことを理由とする報復的不利益変更である。特に経営側によ

る労働組合への妨害行為は厳しく言及されており、絶対にあつてはならないことである。

労働委員会では集团的労使紛争を迅速かつ的確に解決するため、①労働争議の調整（あつせん、調停及び仲裁）、②不当労働行為事件の審査、③労働組合の資格審査の事務を行っている。神奈川は申立て件数に対して和解も多くなっている。

労働組合は経営に対して厳しく対応しながら、必要に応じて労働員会を活用し解決をはかっていたと感じた。



講師 後藤洋介氏

## 第1回

### まちかど労働相談

5月19日（日）13時から17時まで横浜そごう前「新都市プラザ」に於いて「まちかど労働相談」を実施した。「まちかど労働相談」は年4回行われており、今回が第1回目となる。

相談会では連合神奈川労働アドバイザー、連合ユニオン神奈川サポーター、かながわ労働相談センター相談員が対応し、神奈川総合法律事務所から青柳弁護士が参加した。また、横浜地域連合から4名の役員が参加し、チラシ入りのティッシュペーパーを配布し労働相談のPR活動も行った。

21件の相談があり、パワハラ4件、賃金関係3件、労働時間や労働契約、安全衛生は各2件その他となっている。男女別で

は女性が14件、男性が7件となっている。パワハラは電話相談でも増えている。ハラスメントは難しい問題であるが、我慢しないで職場改善がはかれるよう解決に向けた取り組みが必要である。

今後「まちかど労働相談」の第2回は6月15日（土）、第3回は10月13日（日）、第4回は11月10日（日）を予定している。時間はいずれも13時から17時までとなっている。



まちかど労働相談 連合神奈川安部副事務局長



## 第95回かながわ中央メーデー開催

4月27日（土）臨港パークにおいて「第95回かながわ中央メーデー」が開催された。「連帯の力で平和と人権を守り、誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！」「被災地の復旧・復興に向けてみんなで支え合い・助け合おう！」のスローガンの下、4100名が集まった。

連合神奈川林会長は春闘での賃上げ状況について「高い水準が維持できている」「春闘の結果が労働組合のない企業に波及し、最賃引き上げにも反映させる取り組みが必要。これからの正念場だ」と述べた。人への投資を訴える「メーデー宣言」が採択された。

ユニオンからは組合員とその家族を含め30名が参加した。